

令和 8 年度
公益財団法人永井科学技術財団 助成事業

後 期 募 集 要 項

募集期間；令和 8 年 9 月 1 日～10 月 31 日

1. 永井科学技術財団賞

・学術賞 ・技術賞 ・奨励賞

2. 永井科学技術財団 奨励金

・研究 ・融合研究 ・共同研究 ・モノづくり試作

・素形材のデジタル化研究 ・カーボンニュートラル研究

3. 永井科学技術財団 助成金

・国際交流 ・大学院生海外研修

・大学院生国際会議発表支援 ・大学院生論文投稿支援

・科学技術育成教育 ・モノづくり実践支援

1. 助成事業の目的

素形材分野、素形材に関連する分野、これらを他の産業へ応用する科学技術（以下これらを「当該科学技術」という）に関する学術研究、技術開発、国際交流、講演会、発表会、展示会等に対する助成および科学技術全般の育成教育に対する助成を行い、それによる学術及び科学技術の振興と社会経済の発展への寄与を目的としています。

※「素形材」とは、素材に熱や力を加えて形が与えられた部品や部材のことをいいます。素材には金属、石材、ゴム、ガラス、プラスチック、ファインセラミックス、複合材料などがあり、それらに形を与えるには鋳造、鍛造、プレス、粉末冶金など様々な加工法が用いられます。

2. 助成事業の内容

愛知県内の学校・研究機関・中小企業等の研究者、技術者および研究や教育等を支援する団体を対象に以下の事業を行います。

- (1) 素材・素形材に関わる科学技術の学術研究、技術開発、国際交流に対する助成
- (2) 素材・素形材に関する講演会、発表会、展示会等に対する助成
- (3) 科学技術全般に関する教育に対する助成
- (4) その他、当財団の目的を達成するために必要な助成

3. 募集分野

- (1) 素材の創製に関する新たな研究
【金属、有機材料、無機材料、複合材料など】
- (2) 素材の成形および加工方法に関する新たな研究
【鋳造、鍛造、プレス、粉末冶金、3D造形など】
- (3) 素材、成形品、加工品の機能化に関する新たな研究
【改質、表面処理、接合、造粒、微粒化など】
- (4) 素形材と他技術の融合（応用・活用）による新たな研究
【エネルギー、環境、AI、ロボット、電池関連など】



素形材は、さまざまな研究分野と融合することでものづくりを支えています。

4. 募集内容

4-1. 永井科学技術財団賞

(1) 学術賞 【応募資格：50歳以下】

素形材に関わるアカデミックかつオリジナルな研究において顕著な成果を挙げた研究者を表彰し賞金を贈呈します。

(2) 技術賞 【応募資格：50歳以下】

学術賞に次ぎ、素形材に関わるプラクティカルかつオリジナルな技術開発を実施して優れた成果を挙げた技術者を表彰し賞金を贈呈します。

(3) 奨励賞 【応募資格：50歳以下】

学術賞に次ぎ、素形材に関わる優れた研究を実施して成果を挙げた研究者を表彰し賞金を贈呈します。

4-2. 奨励金 <奨励金は基礎から応用まで幅広い研究内容を対象とします>

(1) 研究奨励金 【応募資格：45歳以下】

素形材に関わる研究テーマを実施する研究者、技術者に奨励金を贈呈します。

(2) 融合研究奨励金 【応募資格：45歳以下】

素形材と他分野技術との融合により、多様な展開を目指す研究テーマを実施する研究者、技術者に奨励金を贈呈します。

(3) 共同研究奨励金 【応募資格：研究リーダーは45歳以下】

愛知県内の研究者を研究リーダーとして県外の研究者^{※1}と素形材に関わる研究を実施する共同研究グループに奨励金を贈呈します。各研究者の役割分担を明確にしてください。

※1 愛知県外の大学、専門学校、高等学校、研究機関、企業、団体等に属する者

(4) モノづくり試作奨励金 【応募資格：45歳以下】

素材、工法、デザイン、ソフトウェアなどの研究で得た成果を具体的な形にするための試作費用を支援します。ロボット、デザインアート、モビリティ開発などへの支援実績があります。

(5) 素形材のデジタル化研究奨励金 【応募資格：45歳以下】

素形材分野におけるデジタル化、DX推進、AI活用等に関わる研究テーマや設備、生産や品質管理などに関わる情報処理の研究テーマを実施する研究者、技術者に奨励金を贈呈します。

(6) カーボンニュートラル研究奨励金 【応募資格：45歳以下】

脱炭素社会の実現に向けたカーボンニュートラル（カーボンリサイクル、ゼロエミッション、再生可能エネルギー等）に関わる研究テーマを実施する研究者、技術者に奨励金を贈呈します。

4-3. 助成金 <実施対象期間：2027年4月～2028年3月>

(1) 国際交流助成金 【応募資格：40歳以下】

素形材に関わる研究活動や学会等での研究発表を目的として海外へ渡航する若手研究者を対象に、渡航に要する費用を助成します。対象となる渡航期間は、2027年4月以降に実施される、概ね1週間程度の渡航です。

(2) 大学院生海外研修助成金 【応募資格：大学院生（前・後期課程）】

素形材分野の研究に従事する大学院生を対象とし、海外機関における研究活動・研修を推進することを目的として、渡航に要する費用を支援するものです。助成対象となる渡航は、2027年4月以降に実施される1か月以上の海外滞在を伴う研修とします。

(3) 大学院生国際会議発表支援助成金 【応募資格：大学院生（前・後期課程）】

素形材に関連する研究成果を国際会議において発表する大学院生を対象に行うものです。国際会議への参加旅費、参加登録費、ならびに発表資料作成に要する経費を支援します。助成対象となる国際会議は、2027年4月以降に開催されるものとします。実際に国際会議が開催される国・地域へ渡航し、現地で発表を行うことを応募の条件とします。

なお、発表の際は「公益財団法人永井科学技術財団（The NAGAI Foundation for Science & Technology）の助成による」旨を明記してください。

(4) 大学院生論文投稿支援助成金 【応募資格：大学院生（前・後期課程）】

素形材に関わる研究成果の学術誌への論文投稿に必要な費用を助成します。原則として対象期間内に掲載が決定される論文を対象とします。後日、実施報告書と共に掲載誌面の写しを提出ください。なお、投稿には「公益財団法人永井科学技術財団（The NAGAI Foundation for Science & Technology）助成」の旨を添えてください。

(5) 科学技術育成教育助成金

次世代を担う青少年（小中高生および学生）ならびに一般を対象として、科学技術に関する教育活動およびダイバーシティ推進活動等を実施する愛知県内の団体に対し、助成を行います。活動の趣旨、内容、経費等を明確にご説明ください。

(6) モノづくり実践支援助成金

学校等における製作課題（機械、電気電子、材料、デザイン等）や、素形材に関わるモノづくり活動（授業、部活動、サークル活動など）に対し、その製作費を助成します。助成対象は、2027年4月から2028年3月までに実施される企画で、愛知県内の学校（大学、高等専門学校、高等学校など）および校内サークル等の団体・グループとします。

5. 助成規模

令和8年度（2026年度）助成費予算額 4,000万円

6. 応募資格

- (1) 本事業の対象は、愛知県内の学校、企業、各種団体等に所属する個人またはグループとします。
- (2) 大学院生海外研修、大学院生国際会議発表支援、大学院生論文投稿支援の各助成金は、愛知県内の大学に所属する大学院生（前期課程・後期課程）を対象とします。
- (3) 各所属機関の推薦を得てください。
- (4) 年齢制限の有無および条件は、「4. 募集内容」にてご確認いただけます。
- (5) その他の注意事項

① 過去に財団賞（学術賞・技術賞・奨励賞）を受賞された方は、応募いただけません。

- ② 当財団から以下の助成を受けてから 3 年以内は応募できません。
(4 年目から応募可能)
- ・ 奨励金 (研究、融合研究、共同研究、モノづくり試作、素形材のデジタル化、カーボンニュートラル)
 - ・ 国際交流、大学院生海外研修、大学院生国際会議発表支援、大学院生論文投稿支援の各助成金
- ③ 大学院生を対象とする助成金については、以下の方は応募できません。
- ・ 企業からの派遣学生
 - ・ 海外からの国費留学生
- ④ 同一研究室からの複数の応募は、できる限りご遠慮ください。

7. 応募手続

- (1) 応募期間 2026 年 9 月 1 日～10 月 31 日 (期間内必着)
- (2) 応募方法 ① 所定の申請様式に必要事項を記入し、e-mail (PDF ファイル) または郵送で事務局宛にお送りください。
- ② 申請者は、直筆サインと押印、推薦者は押印 (シャチハタ、電子印は不可) をお願いします。
- ※ 申請様式 (Word 形式) は当財団ホームページからダウンロードできます。(https://www.sinto.co.jp/nagaizaidan/)

(3) 提出書類

- ① 永井科学技術財団賞〔学術賞、技術賞、奨励賞〕
- ・ 様式【1】
 - ・ 内容を説明する研究論文等
- ② 奨励金 (研究、融合研究、共同研究、モノづくり試作、素形材のデジタル化、カーボンニュートラル)
- ・ 様式【2】、共同研究は様式【2-1】
 - ・ 研究テーマの内容が理解できる資料 (計画書など)
- ③ 国際交流助成金
- ・ 様式【3】
 - ・ 研究テーマ及び国際交流の内容が理解できる資料
- ④ 大学院生海外研修助成金
- ・ 様式【4】
 - ・ 研究テーマ及び海外研修の内容が理解できる資料
- ⑤ 大学院生国際会議発表支援助成金
- ・ 様式【5】
 - ・ 国際会議、研究テーマ及び発表内容が理解できる資料
- ⑥ 大学院生論文投稿支援助成金
- ・ 様式【6】
 - ・ 投稿誌の概要、論文、研究テーマの内容が理解できる資料
- ⑦ 科学技術育成教育助成金
- ・ 様式【7】
 - ・ 実施事業の内容がよく理解できる資料
- ⑧ モノづくり実践支援助成金
- ・ 様式【9】
 - ・ 実施目的と計画がよく理解できる資料

8. 審査・採択

学識経験者から成る選考委員会により申請書類を審査し、理事会にて採択を決定します。

9. 採否通知、公表、実施報告書の提出

- (1) 採否は当財団理事長より申請者に通知します。(2027 年 2 月末を予定)
- (2) 採択者については当財団ホームページ及び新東工業株式会社が発行する「新東技報」で氏名、所属、研究内容等を公表します。
- (3) 奨励金及び助成金の受託者は、実施後に必ず報告書を提出してください。
※実施報告書の書式は当財団ホームページよりダウンロードできます。
(<https://www.sinto.co.jp/nagaizaidan/>)

10. 表彰及び交付

- ① 財団賞の表彰及び奨励金の交付は贈呈式で行います。(2027 年 3 月開催予定)
- ② 助成金の交付は採択通知後、個々に実施します。

11. 申請書類の提出先、連絡先

[事務局]

公益財団法人 永井科学技術財団

〒450-6424 愛知県名古屋市中村区名駅三丁目 28 番 12 号

大名古屋ビルヂング 24 階 (新東工業株式会社内)

事務局長 石黒裕之

電話 (052)582-9211 FAX (052)586-2279

E-Mail nagaizaidan@sinto.co.jp

財団 HP <https://www.sinto.co.jp/nagaizaidan/>

(公財)永井科学技術財団 令和8年度後期募集一覧

事業名称		対 象	応募資格
財 団 賞	素形材に関わる分野の研究実績と将来性を評価された研究者、技術者を表彰		
	学術賞	【最高位表彰】 素形材に関わるアカデミックかつオリジナルな研究を実施して顕著な成果を挙げた研究者	50歳以下
	技術賞	学術賞に次ぎ素形材に関わるプラクティカルかつオリジナルな技術開発を実施して優れた成果を挙げた技術者	
	奨励賞	学術賞に次ぎ素形材に関わる優れた研究を実施して成果を挙げた研究者	
奨 励 金	素形材に関わる分野の研究費用を助成（基礎研究から応用研究まで）		
	研究	素形材に関わる研究テーマを実施する研究者、技術者	45歳以下
	融合研究	素形材と他分野技術との融合により、多様な展開を目指す研究テーマを実施する研究者、技術者	
	共同研究	愛知県内の研究者をリーダーとして県外の研究者と素形材に関わる研究を実施する共同研究グループ	
	モノづくり試作	素材、工法、デザイン、ソフトウェアなどの研究開発で得た成果を具体的な形にするための試作費用を支援 ☆ロボット、デザインアート、モビリティ開発などへの支援実績あり	
	素形材のデジタル化研究	素形材分野におけるデジタル化、DX推進、AI活用等に関わる研究テーマや設備、生産や品質管理などに関わる情報処理の研究テーマを実施する研究者や技術者	
	カーボンニュートラル研究	脱炭素社会の実現に向けたカーボンニュートラル（カーボンリサイクル、ゼロエミッション、再生可能エネルギー等）に関わる研究テーマを実施する研究者や技術者	
助 成 金	グローバルな視点でのモノづくり意識の向上や科学技術教育を推進するための助成 （実施対象期間：2026年1月～2027年3月）		
	国際交流	海外に赴き素形材に関わる研究、調査等の活動を行う研究者 ※概ね1週間程度の渡航期間	40歳以下
	大学院生海外研修	素形材に関わる研究において海外研修や留学等を行う大学院生 ※1ヶ月以上の渡航期間	大学院生 前期課程 後期課程
	大学院生国際会議発表支援	素形材に関わる研究成果を国際会議で口頭発表する大学院生 ※実施対象期間内に発表	
	大学院生論文投稿支援	素形材に関わる研究成果の学術誌、学会誌へ論文投稿する大学院生 ※対象期間内に投稿・採用	
	科学技術育成教育	次世代を担う青少年および一般を対象に科学技術に関する教育活動、ダイバーシティ推進活動を支援する団体	—
	モノづくり実践支援	愛知県内の大学、高等専門学校、高等学校等が実施する課題製作（機械、電気電子、材料、デザイン等）及び具体的なモノづくりを実施する活動（授業、部活動、サークル活動など）にそれにかかる費用を助成 ☆大会出場のためのロボットや電動バイクの製作に支援実績あり	—